

令和5年度 社会福祉法人さくらんぼの里 事業報告

1. 運営方針

運営方針	実施内容及び今後の課題
(1) 利用者一人ひとりの実態に即した積極的な支援に努める。	(1) 利用者の実態把握に努め、実情に即した「個別支援計画」を作成するなどして支援内容を工夫した。
(2) 職員を適材適所に配属して、効率的に職務の遂行ができるようにする。	(2) 職員の希望も取り入れ、適切な職務分担に努め意欲的に取り組めるようにした。
(3) 安全で清潔な生活しやすい施設設備などの環境を整備する。	(3) 施設内を清潔に保ち、整理整頓の推進に努めた。
(4) 安定した運営ができるよう財政基盤を強化する。	(4) 財政上の無駄を排し、計画的で健全な資金活用に努めた。
(5) 法改正等に伴う諸規定の整備を行い、法人経営のより一層の適正化をめざし法人役員の改選を行う。新事業計画の策定に取り組む。	(5) 諸規程の整備に努めた。新事業計画の概要を策定した。

2. 重点目標

重点目標	実施内容及び今後の課題
(1) 利用者支援	
① 利用者の特性をふまえて、適切なサービスを提供する。	① 利用者の特性にあった、サービスに振り分けて活動することができた。
② 機能の低下を防ぎ、持っている能力の維持・向上を図る。	② 利用者の得意や強みに着目し、その能力の維持・向上に努めた。
③ 持っている能力に応じ、自立した日常生活と社会生活ができるようにする。	③ 利用者の生活課題を計画的・段階的に解決できるように支援した。
④ 常時リスク管理に努め、利用者が安心安全に過ごせる生活環境作りに努める。	④ 利用者の不安を除去できる体制整備に努めた。
⑤ 利用者の不利益になる虐待などの防止に努める。	⑤ 虐待防止につながる研修に努め、職員の共通理解を図った。

<p>(2) 職員の職務及び処遇</p> <p>① リーダー層、中堅層、若手層が相互に信頼しあい高めあう組織にする。</p> <p>② 職員間相互の報連相(報告・連絡・相談)に努め、より一層の職員連携を強化する。</p> <p>③ 将来的な世代交代を見据えた人材育成に努める。</p> <p>④ 支援のあり方の向上に努め、自己研鑽に励む。</p> <p>⑤ 職務遂行内容の明確化を図るための「職員ルールブック試作版」を改訂する。</p>	<p>① 職員の職務経験や職務内容を踏まえて、互いの協力により信頼醸成ができるようにした。</p> <p>② 職員間の活発なコミュニケーションに努め、より良い職員連携が図ることができた。</p> <p>③ 若手をリーダー層に登用するなどして、世代交代を考慮した人材育成に努めた。</p> <p>④ 利用者支援向上のための研修研鑽のため、自主的に資格取得に努める必要がある。</p> <p>⑤ 「職員ルールブック令和5年版」という改訂版を作成し職員に配布した。</p>
<p>(3) 施設設備等の環境整備</p> <p>① 施設内外の環境改善に努める。</p> <p>② 業務に必要な書類の保管整理に努める。</p> <p>③ 利用者にとって機能的に活用できる環境を整備する。</p> <p>④ 利用者が安心して過ごせる個別対応の場を確保する。</p>	<p>① 常時施設内外の環境を点検し、危険の早期発見に努めた。</p> <p>② 共有書類の保管整理に努めているが、個人所有の書類整理が課題である。</p> <p>③ 利用者の活動を紹介するギャラリーを廊下に設定できた。</p> <p>④ 利用者にとってクールダウンできる場の確保に努めた。</p>
<p>(4) 財政基盤強化</p> <p>① 常時適正で透明性のある財務管理に努め、見通しのある財務状況を維持する。</p> <p>② 余裕資金が確保できるように努める。</p> <p>③ 助成制度等を積極的に活用する。</p> <p>④ 下請け加工作業などの生産活動を安定的に行うため、取引先の拡大に努める。</p> <p>⑤ 自主製品や仕入れ商品等の販売網を拡大し、積極的な販売活動によ</p>	<p>① 適正な会計処理によって、計画的な財務運営を行うことができた。</p> <p>② 黒字を確保することができた。</p> <p>③ 助成制度等の情報収集に努めて、施設設備の改善に役立てることができた。</p> <p>④ 段ボール組立て・農福連携作業などを拡大することができた。</p> <p>⑤ コンニャク販売網を拡大し、バザー開催回復などによって、収入を増やすことができた。</p>

て、より一層の収入増に努める。

3. 到達目標

到達目標	実施内容及び今後の課題
<p>(1) 利用者支援</p> <p>① 利用者の平均工賃が年間 15.5 万 (1.29 万/12 月)円に達するようにする。</p> <p>② 収益性のある農福連携事業などを積極的に導入する。</p> <p>③ 本人や保護者の意見を取り入れた個別支援計画に基づき、PDCA(Plan → Do → Check → Action)サイクルを踏まえて適切な支援にあたる。</p> <p>④ ケース会議(毎月開催、利用者一人当たり年間 2 回以上実施)などにより、利用者一人ひとりの実情について共通理解を図り、支援の適正化に努める。</p>	<p>① 利用者の平均工賃が年間 18 万(1.5 万/12 月)円を達成することができた。</p> <p>② 段ボール加工やこんにやく販売先の拡大などによって収益を上げることができた。</p> <p>③ 保護者聞きとりなどにより個別支援計画の作成に努め、より良い支援のあり方を模索してきたが、さらに焦点化した内容のものにする必要がある。</p> <p>④ ケース会議の実施により、利用者の実情について知ることができたが、支援に関する具体策をより掘り下げることが課題である。</p>
<p>(2) 職員の職務及び処遇</p> <p>① 全職員の給与支給日を統一して、毎月 15 日に変更する。</p> <p>② 業務上基本的な知識と技能を必要とする資格取得や研修受講に努める。</p> <p>③ 利用者一人ひとりに合った作業効率の正確性や効率性向上のための援助や治具などの方法を工夫する。</p> <p>④ 利用者にとって、安定的に作業内容や量を確保できるように、取り引き先や販売網の開拓や交渉に努める。</p>	<p>① 全職員の給与支給日を、毎月 15 日変更することができた。</p> <p>② 資格取得のためには、研修時間の確保や費用がハードルになっていて、施設として保障ができず、職員の自主性に任されているのが課題である。また、「職員ルールブック」を作成し、職員の基本的な職務内容を確認できるようにしているが、それぞれが適宜活用することが課題である。</p> <p>③ 加工作業・自主製品づくり・販売活動に役立つ利用者に応じた場の設定や治具の工夫で作業効率を上げることができた。</p> <p>④ 自主製品の販売網拡大や加工作業の下請け先の開拓に努めた。</p>

<p>⑤ 職員の待遇改善に努め、勤務時間内で職務遂行できるよう、職務内容や役割分担を明確化・焦点化して、効率的で効果的な職務を行う。</p>	<p>⑤ 職員全体の残業時間は減少しているが、職務内容が偏って負担過重になっている職員に対する改善が必要である。</p>
<p>(3) 施設設備等の環境整備</p> <p>① 事務室内を各職員が機能的に使えるよう共有化スペースを設ける。</p> <p>② プレハブ小屋の交換を行う。</p> <p>③ 伸びすぎた樹木の伐採を計画的に行う。</p> <p>④ 事務室内の書類保存を明確にし、デジタル保存管理などに努める。</p>	<p>① 事務室の共有化スペースは未整備。</p> <p>② プレハブ小屋の交換ができた。</p> <p>③ 樹木伐採ができた。</p> <p>④ 事務作業の効率化により、デジタル化を図るための計画が必要である。</p>
<p>(4) 財政基盤強化</p> <p>① 送迎サービスの利用者負担を1回あたり30円増額する。</p> <p>② 年間余裕資金が、0.5%程度確保できるようにする。</p> <p>③ 国や市及び私的な助成資金の情報収集に努め、その確保に努める。</p> <p>④ GH の運営が円滑に実施できるよう明確な資金計画を立案する。</p>	<p>① 送迎サービスの利用者負担を1回あたり30円増額して、送迎サービス提供の安定化に寄与することができた。</p> <p>② 年間で210万余円黒字化することができた。</p> <p>③ 「生命保険協会」、「山形市省エネ設備導入支援事業費補助金」によって、物置、エアコンの整備をすることができた。</p> <p>④ グループホーム女子棟「スマイル」の2室が空室のままで、今後うめる必要がある。</p>

5. 中長期事業計画

項目 年度	(1)利用者支援	(2)職員の業務 「収益性ある 自主製品研 究」	(2)職員の資質 「福祉関係資格取 得及び更新」	(3)施設設備等の 環境整備「施設 修繕・改修」	(4)財政基盤強化	(5)事業拡大
6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 2棟のGH運営3年目運営安定化 ◎ 女子棟「すまいる」空き居室2室入居者募る ◎ 工賃13万円/月 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 贈答用新品の研究3年目 ◎ 農福連携実施3年目、今後継続 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 講師招聘症例研究を実施3年目(症例まとめ②)「講師=佐竹真次氏(保健医療大名誉教授)年3回研修実施」 ◎ 新資格取得者1名 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 施設設備等の改修計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 年間2%余裕資金確保 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 生活介護事業定員拡大及びGH3棟目事業「資金確保」計画策定
7 年度	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 工賃13万円/月 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 新自主製の立上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 講師招聘症例研究を実施4年目(症例まとめ③) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 施設設備等の改修資金の確保について検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 年間2%余裕資金確保 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 生活介護事業拡大及びGH3棟目「建設」計画
8 年度	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 工賃13万円/月 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 新自主製の定着1年目 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 講師招聘症例研究実施5年目(症例まとめ④) ◎ 新資格取得者1名 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 施設設備等の改修開始 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 年間2%余裕資金確保 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 生活介護事業拡大及びGH3棟目「建設」開始
9 年 目 (40周年)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 工賃13万円/月 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 新自主製の定着2年目 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 講師招聘症例研究を実施6年目(症例研究冊子発表) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 施設設備等の改修2年目 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 年間2%余裕資金確保 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 生活介護事業拡大及びGH3棟事業開始
10 年度	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 工賃13万円/月 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 新自主製の定着3年目 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 施設設備等の改修3年目 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 年間2%余裕資金確保 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 生活介護事業拡大及びGH3棟事業2年目

4. 事業別運営内容

- ◎ 新型コロナウイルス感染防止対策を継続し、安全な環境作りに努めた。
 - ・ 1日3回全館の消毒、換気、手洗い、うがい、マスク着用の継続
 - ・ 密にならないよう活動の分散化 ・ 時間差による食事の提供
 - ・ 年度初めの頃のべ82日分コロナ感染により利用者の欠席となった。
- ◎ 生活の質の向上
 - ・ 過ごしやすい生活の提供のために、人的・物理的な環境の整備
 - ・ 安定できるための個室の活用及び、作業場の分離を行った。
- ◎ 意思決定支援
 - ・ 意見を発信できる利用者は限定されるが、一人ひとりの理解できる方法で自己選択・決定の機会を多く取り入れた。
 - ・ 行事等縮小により、利用者意向を主体とする活動が組めなかった。
- ◎ 権利擁護
 - ・ 権利擁護・虐待防止等の担当職員の配置及び研修参加の復命にて全員周知の徹底が図られた。
- ◎ 支援力向上
 - ・ 講師を招聘し、症例研究を3回実施した。職員の支援の視点や具体的な声掛けの支援方法についてアドバイスを頂き、実践した結果改善・成果が見られている。なお支援を継続していく。
 - ・ 外出時の支援方法について確認及び全体周知。
- ◎ 資源回収…毎月1回実施。家庭及び事業所の資源回収をとおして、社会参加と山形市ごみ減量推進への貢献。

(1) 生活介護事業

定員10名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	10名	10名	10名	10名
出席率	85.3%	87.1%	75.7%	85.1%
定員数対比	85.3%	87.1%	75.7%	85.1%

※1名 コロナ感染予防のため自己欠席及び不調等により、利用率29%
 他9名の利用率は 91.9% 皆勤賞 2名 精勤賞 2名

- ① 継続的な体験を積み重ね、場面への適応力を高める支援を行った。
 - ・ 外出、公共施設利用（温泉）は感染予防の観点から計画なし。
 - ・ 日々、食事の場面で“待つ”“順番を守る”などのルールやマナーを身に付け社会適応力を高める支援を継続している。
- ② 個々の特性に応じて、コミュニケーションを大切にし、パーテーションや個室などの環境整備に努め、安定した生活につなげた。

- ③ 日々の生産活動・創作活動及び娯楽活動をとおして、経験の幅を広げながらステップアップを図った。
- ・生産活動…新たな業者から新たな作業2種類を導入。要所は職員が行い、殆どの方が携わっている。
 - ・月1～2回の調理実習…包丁やガスなど安全面に配慮しながら皆が携わってデザート作りを行った。作る楽しみ食べる楽しみを味わった。
 - ・創作活動…新聞を利用した紙粘土制作、市役所展示会に参加した。
- ④ 将来の豊かな生活を視野に入れ、家庭と共有化を図りながら健康面・生活面の支援を行う。
- ・健康管理…看護職員による血圧測定の継続。手洗いの指導による感染防止対策を講じた。

(2) 就労継続支援B型事業

定員30名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	36名	35.25名	35名	34.5名
出席率	94.4%	95.1%	95.9%	95.3%
定員数対比	111.2%	111.8%	111.8%	109.6%

※皆勤賞 12名 (内5年連続皆勤賞1名) 精勤賞 6名

① 就労活動

利用者の作業能力を考慮し、協力体制を構築したことにより、作業技術と意欲向上の成果が見られ、工賃向上につながった。

- ・自主製品…こんにやく 市の優先調達方針継続〔市立保育園2カ所〕
バザーの復活による販売参加、集客があった。更に、新たな契約を結び定期的な納品及び注文販売により売り上げが安定的に上昇した。
- ・下請作業…新規作業の導入により、全員が専門的作業の幅が広がり、作業技能が向上し共有技能も身に付いた。
- ・販売…バザー収入が増加した。顧客のニーズに合わせた仕入れによって、日々の売り上げが安定した。

② 施設外支援…地域社会の中で、外部指導者の下、社会的な関わりを通して社会生活力と意欲の向上を図った。〔ふれ愛実習11名〕

③ 施設外就労…農副連携 トマト収穫等の作業に携わった

1チーム利用者2～3名・職員1名

④ 体力増進…「意識して体を動かす」ラジオ体操の徹底、ウォーキングの継続によって、体力の低下防止・維持に努めた。

⑤ 資源回収…毎月1回実施。家庭及び事業所の資源回収をとおして、社会参加と山形市ごみ減量推進へ貢献。プルタブ回収。

⑥ 地域貢献活動…月1～2回、子ども食堂へ食材(こんにやく)の提供。

(3) 共同生活援助事業

グループホーム「すまいる」 平成29年12月開設

定員6名	令和2年度	令和3年度	4年年度	5年度
利用者数	6名	6名	4名	4名
利用率	79.0%	81.8%	67.7%	85.8%
定員数対比	79.0%	81.8%	67.7%	平均利用数3.5名

◎帰省状況

毎週帰省	月1～2回	帰省なし
3名	1名	1名

※土曜日が全員登園日や祝日に残る利用者が若干増えた。

グループホーム「ぴーす」 令和4年5月開設

定員7名	令4年度5月～	令和5年度
利用者数	7名	7名
利用率	79.0%	76.8%
定員数対比	79.0%	平均利用数5.4名

◎帰省状況

毎週帰省	月1～2回	GW・お盆帰省
3名	3名	1名

- ① 安定した共同生活を送られている。個々が洗濯・掃除・食器洗いが定着してきた。自立ある生活ができるようにスタッフと情報を共有しながら同じ方向性をもって、全体・個別に支援した。
- ② 家としてくつろぐ場となり、リビングで過ごす時間、自室での過ごし方など、各自時間を有効に使っている。
- ③ 誕生会や花見など希望に合わせた内容を企画し、楽しい時間を心待ちにしている。
- ④ 帰省の計画は、本人の希望と安定を考慮して家庭と調整した。
- ⑤ 休日や長期休みの過ごし方支援として、本人の希望にあわせコロナ感染防止対策を講じながら外食や温泉で気分転換を図った。
- ⑥ 家族と施設職員・GHスタッフとの交流会を実施し、安定した生活が送れるように情報を共有し、協力体制を整えた。
- ⑦ 利用に向けて体験利用実施 毎週1泊2日 1名

5. 苦情受付状況の報告 [令和4年11月～令和5年10月]

令和5年11月14日(火) 第三者委員会定例会

1. 研修報告

○苦情対応初任者研修会

○苦情解決リーダー研修会

2. 前回の苦情に対する経過報告

①支援の不適切…面談で指導を重ね、生活担当を変更

②送迎の危険運転…面談で指導を重ね、「優しい運転」を約束

3. 苦情3件

①対応の不適切 [取引業者より]

②利用者から職員に対する暴言、暴力 [職員より]

③送迎者の運転マナー [一般市民より]

対 応

①上司・管理者との数回の面談。振り返り意識改善することの指導を行った。

②てんかん発作、気分の高揚、不安定などの特性ある利用者。本人への指導及び家庭へ報告

③該当運転者への聞き取り・注意点の確認

面談を重ねたが、相手が悪いとの主張。適性の問題有。

・運転者打合せ会において、全運転者への周知及び文書による注意喚起の徹底

4. 第三者委員より

施設職員と送迎・GH職員、世代によってハラスメントの意識の違いがある。かつては大丈夫だった言動が、今はハラスメントである。意識改革、世の中が変わっていることを知らせる。研修やパンフレットで覚えてもらう。

6. 法人の部〔理事会・評議員会等〕

開催日	曜	内 容	備 考
4月 3日	月	職員採用試験 (職業指導員)	のぞみの家
5月29日	月	法人監査	のぞみの家 監事 2名
6月12日	月	第1回 理事会 1. 評議員会の開催について 2. 令和4年度 事業報告 3. 令和4年度 決算 監査報告 4. 令和4年度 社会福祉充実残額 5. 役員候補者の選任	のぞみの家 理事 5名 欠席 1名 監事 2名
6月27日	火	第1回 評議員会 1. 令和4年度 事業報告 2. 令和4年度 決算 監査報告 3. 令和4年度 社会福祉充実残額 4. 役員の選任	のぞみの家 評議員 7名 監事 1名
		第2回 理事会 1. 理事長の互選 2. 業務執行の選任 3. 評議員候補の推薦 評議員選任解任委員会 1. 評議員の選任	のぞみの家 理事 6名 監事 2名 のぞみの家 委員 3名
11月14日	火	第三者委員会 定例会	のぞみの家 委員 3名
11月27日	月	第3回 理事会 1. 令和5年度 11月補正収支予算 2. 臨時職員就業規則の一部改正 3. 職員給与規程の一部改正 4. 共同生活援助事業運営規程の一部改正	のぞみの家 理事 2名 監事 2名
12月12日	火	一般指導監査 (社会福祉法人の運営状況)	のぞみの家 市監査課 3名
3月18日	月	第4回 理事会 1. 令和5年度最終補正収支予算 2. 積立金の積み立て 3. 令和6年度 経営計画 4. 令和6年度 当初予算 5. 経理規程の一部改正 6. 法人賠償責任保障の更新 7. 「のぞみの家」運営規程の一部改正	のぞみの家 理事 5名 欠席 1名 監事 2名

施設の現況

(1) 利用状況報告 支給決定市町村別

	山形市		上山市		村山市		長井市		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
生活介護	5	3	2						10
就労B型	26	5.5	1			1	1		34.5
計	31	8.5	3			1	1		44.5
GHすまいる		3				1			4
GHぴーす	6						1		7
計	6	3				1	1		11

(2) その他(会議等)

随時	ぴーす入居 ⇒ すまいる入居
毎月	調整会議・職員会議・工賃向上会議
年2回	給食検討委員会
随時	GHスタッフ会議・送迎運転者会議
年1回	第三者委員会定例会

(3) 職員の状況

	期首	期末	資格
のぞみの家	11	11	介護福祉士 3名 社会福祉士 1名
のぞみの家パート / 看護師	4 / 1	4 / 1	介護福祉士 1名 看護師 1名
GH	13	14	
送迎員	3	5	
嘱託医	1	1	医師 1名
計	33	36	

(4) 活動・行事

開催日	曜	内容	備考
4月10日 ～ 14日	土 金	花見 ○舞鶴山(天童)、お達磨の桜(中山) ○堂ノ前公園(東根) ○舞鶴山(天童) ○烏帽子山(南陽) デザート(3種から選択)・三食だんご	作業班毎
5月16日	火	ふれ愛スポーツ広場参加 [自動車総連招待]	河北町
6月24日	土	あじさいロード草取り・側溝掃除 お楽しみティータイム(スポーツドリンク・選択アイス)	のぞみの家
7月8日	土	あじさい・こんにやく祭 [縮小 一般開放午後]	のぞみの家

		○販売（自主製品・授産品） ○発表（紙芝居の読み聞かせ） ○お取り寄せグルメの販売（25種類）	
7月20日	木	体験採取 プルーン 13名参加	悠創の丘
26日	水	避難訓練	のぞみの家
8月8日 ～ 31日	火 木	外食 ○十一屋（洋食） ○ガスト（和洋中） ○林商店（ラーメン） ○すぎ（そば・ラーメン）	作業班毎
9月5日	火	嘱託医健診	のぞみの家
9月6日	水	日帰り旅行〔宮城県方面〕 コロナ感染者発生のため	中止
10月7日	土	のぞみの家祭り〔縮小・半日〕	天童
11月12日	土	芋煮会〔のぞみの家まつり代替え行事〕 避難訓練	のぞみの家
11月		そば何処「すぎ」様より新そばの招待	すぎそば
12月24日	土	クリスマス会 ○オーナメント作り ○クリスマスソング ○年賀状作り [マックスバリュ東原店様よりお菓子の慰問]	のぞみの家
1月		外食〔地域に還元〕 開店と同時、部屋の貸し切り	すぎそば
1月28日	土	新春神社参り ○石行事（歩き） 本堂で住職のお話 ○護国神社（公用車） ○絵馬書き	選択活動
2月25日	土	軽運動 ○個人競技〔ゲートボール・借り物競争・多種目リレー〕 ○団体競技〔シッティングバレー・綱引き〕	ヒルズサン ピア
3月11日	土	大掃除	のぞみの家
3月25日	木	年度末食事会（外食は中止） ○1年の振り返り発表 ○ビンゴ大会 ○集合写真 ・豪華弁当（8種類） ・ケーキ（4種類）	のぞみの家
毎月		○クリーン作戦 ○ウォーキング ○さくらんぼ市	
4月～7月		ふれ愛実習 11名	ふれ愛

対 外

開催日	曜	内 容	
6月29日	月	登記	法務局
11月26日	火	市長と語る会	福祉センター
1月16日	木	サービス事業所実地指導	山形市監査課

会議・来所者等

開催日	曜	内 容	
6月17日	金	給食検討委員会第1回	メフォス 3名
1月24日	火	給食検討委員会第2回	施設 2名
11月18日	月	第三者委員会定例会（委員・サビ管・施設長） ・苦情受付状況報告 ・研修参加報告 [石沢委員・武田サビ管]	のぞみの家 第三者委員3名 施設 3名
月1回		調整会議 第4木曜日 職員会議 第4木曜日・第5木曜日 工賃向上会議 最終週	のぞみの家
月1回	水	さくらんぼ市 B型	のぞみの家
随 時		○GHすまいる世話人・宿直者等会議 入居者について、個別支援計画の確認及び対応 の共有化 ○送迎運転者会（運転者・委員）	すまいる ぴーす のぞみの家
随 時		個別の見学受入れ	

健康・安全対策

開催日	曜	内 容	備 考
7月26日	水	第1回 自衛防災訓練 (総合訓練 通報・避難誘導・消火)	のぞみの家
3月26日	火	第2回 自衛防災訓練 (総合訓練 通報・避難誘導・消火)	のぞみの家
9月 5日	火	第1回 嘱託医健診	のぞみの家
3月 5日	火	第2回 嘱託医健診	
10月・11月		インフルエンザ予防接種	各主治医 きくち内科医院

BMI表

	肥満	やせ	標準	計
男性	13	3	17	33名
女性	4	1	6	11名
全体	17	4	23	44名

実習受け入れ

開催日	曜	内 容	
7月31日 ～8月2日	月 水	米沢養護学校 中学部教諭 中堅教諭等資質向上研修（福祉体験研修）	1名
8月2日	水	訪問観察 山形大学大学院生・指導教授 「障害児のキャリア支援」	2名
9月4日 ～15日	月 火	施設実習 東北文教短期大学 2年	1名
9月4日～5日 25日～26日	月 火	厚生看護学校 1年生体験実習	3名 3名
9月8日	金	施設見学 山形養護学校 中学部生徒・保護者・教諭 見学及び体験	9名
10月4日	水	米沢養護学校 中学部3年生徒・職員 施設及び作業や生活の様子見学及び作業体験	3名
10月16日 ～20日	月 金	介護等体験 東北芸術工科大学	2名
11月13日 ～17日	月 金	介護等体験 東北芸術工科大学	1名
2月5日 ～16日	月 金	施設実習 羽陽学園短期大学	2名

研修・会議等参加一覧（R5年度）

日付	曜	研修名	参加者	備考
4/25	火	県知的障害者福祉協会総会・施設長会議	田中頼子	ヒルズサンピア
5/17	水	東北文教大・短大連絡協議会	工藤貴伸	Zoomによるオンライン会議
5/23	火	就労センター総会	田中頼子	アルカディアソフトパーク
5/24	水	地区安管協総会	荒井 勉	ビッグウィング
6/5,6	月・火	障がい児・者福祉関係新任職員研修	近藤有紗	山形県社会福祉研修センター
6/8	木	経営者協総会・研修会	田中頼子	天童ホテル
7/20	木	苦情対応実践初任者研修	浅野孝	山形テルサ
7/28	金	高次脳機能障がい研修	工藤貴伸	市社協
8/1	火	経営者協セミナー	田中頼子	ヒルズサンピア
8/4	金	公益活動検討委員会	田中頼子	市社協
8/9	水	福祉人材採用 UP セミナー	田中頼子	Zoomによるオンライン研修
8/24	木	自立支援協議会	田中頼子	市役所
9/14,15	木・金	東北地区福祉協会専門研修	工藤貴伸 林 良恵	グランドホテル
9/26	火	福祉施設苦情解決リーダー研修会	田中頼子	山形テルサ
10/2	月	市長と語る会	田中頼子	山形市福祉センター
10/16	月	福祉施設等連絡会・企画実行委員会	林 良恵	山形市福祉センター
10/26	木	安全運転管理者講習会	荒井 勉	交通安全センター
10/30-31	月・火	施設長研修・県障がい福祉課長との懇談会	田中頼子	グランドホテル
11/13	月	山形県就労センター視察研修会	工藤貴伸 松田吉邦	山形県コロニーセンター 山形県リハビリセンター
11/16	木	山形市福祉協会支部研修会	田中頼子	Zoomによるオンライン研修
11/17	金	整備管理者講習会	荒井 勉	トラック協会

12/1	金	第1回就労支援部会 研修会	松田吉邦	山形市福祉センター
12/13	水	福祉施設等連絡会	林 良恵	山形市社協
12/18	月	生活介護部会	峯田豊和	心音
1/11	木	経営者協セミナー	黒木仁 田中頼子	天童ホテル
1/30	火	山形県共同受注センター営業拡大研修①	松田吉邦	Zoomによるオンライン研修
2/9	金	商品開発研修会	松田吉邦	山形県総合運動公園
2/13	火	自立支援協議会	田中頼子	山形市役所
2/20	火	令和5年度 山形県障がい者虐待防止 権利擁護研修	田中頼子	山形県庁
2/21	水	山形市社会福祉施設等連絡会 研修会	林 良恵	山形国際ホテル
2/21	水	虐待未然防止のための研修会	田中頼子 荒井 勉	Zoomによるオンライン研修
2/22	木	山形県共同受注センター営業拡大研修②	松田吉邦	Zoomによるオンライン研修
3/7	木	施設長研修会・第2回施設長会議	田中頼子	①社会福祉法人 わらしべ舎 ②社会福祉法人愛子福祉会 フォンテーヌ
3/11	月	山形市福祉施設等連絡会 企画会議	林 良恵	山形市福祉センター
3/12	火	障がい者の権利擁護セミナー	草刈百香	Zoomによるオンライン研修